

ご挨拶

東辰航運有限公司は、2018年8月に香港で設立し、中国の山東省青島市に本社を、日本の大阪市に子会社である東辰航運株式会社を構える国際定期コンテナ船社です。そして、弊社は日中間航路に深く携わる船会社であると同時に、中国北部で唯一、RORO船とコンテナ船の両方を運航する船会社でもあります。

弊社は、他船社と共同配船することで、青島港から日本の主要港(東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、門司、博多)の間での海上コンテナ輸送サービスを提供しています。しかし、弊社は貨物の海上輸送だけにとどまらず、弊社のロジスティクス部門及び弊社の代理店や協力企業と共同して、お客様にとってより利便性の高いサービスを提供してきました。例えば、海上輸送だけでなく、鉄道輸送をも利用した複合輸送サービスを提供することにより、西は欧州地域から東は北海道までの貨物の輸送を可能にしています。弊社のサービスを利用するお客様に、より収益性の高いサプライチェーンを提供できると考えております。

また、弊社は2022年6月より新たにRORO船の運航を開始しました。このRORO船(DCL QINGDAO)は、青島港から大阪港の間を航海し、350TEUのコンテナに加え、46台の自動車を積載することができます。もちろん、コンテナという規格にとらわれることなく、特殊サイズのバルク貨物、精密機器、大型設備、特殊車両、その他各種機械などを輸送することも可能です。加えて、弊社のRORO船は時速30ノットで日中間を走行することが可能なため、他船社に負けないスピードで海上輸送を行うことができます。

弊社は、「お客様に空運の速度を海運の運賃で提供する」というモットーの下、お客様に安心して利用いただけるよう、利便性の高い「海上高速道路」を日中間に建設しています。そしてこのことは、2022年1月1日に正式に発効したRCEP協定を実際に大きく推進する原動力となり得るものと自負しています。今後、日中間の経済交流がより活発になることで、青島及び大阪を「北東アジアにおける国際海運のハブ地域」とすることに大きく貢献していきたいと考えています。



代表取締役 陳永泰

